

武儀地域 将来人口推計

1 推計方法について

今回の人口推計は、過去の住民基本台帳DATA（平成20年～平成24年の各年7月1日）を用いて、コーホート要因法により5歳階級別・男女別に算定を行った。

コーホートとは、同年（又は同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの変化を用いて人口推計を行う方法である。コーホート要因法では、ある年齢別人口に出生率や移動率などの仮定値をあてはめて将来人口を計算する方法であり、それぞれの仮定値は以下により設定した。

出生率	出生率とは、1人の女性が一生に産む子どもの数を示す数字であり、将来の出生率の仮定値については、厚生労働省の推計値を使用した。
生残率	生残率とは、あるコーホート集団が5年後に生き残っている確率のことであり、死亡率より将来生命表を作成して算出する。本推計では、厚生労働省の推計値を使用した。
移動率	平成20年～平成24年までの5年間の平均移動率を算出し、その値を将来も一定であると仮定した。
出生児の性比	将来の出生数を男児、女児と分けるための出生性比については、国の直近2年間の実績に基づき女子100に対して男子を105.5とした。
推計使用データ	平成20年～平成24年までの住民基本台帳

2 武儀地域の将来人口（各年7月1日）

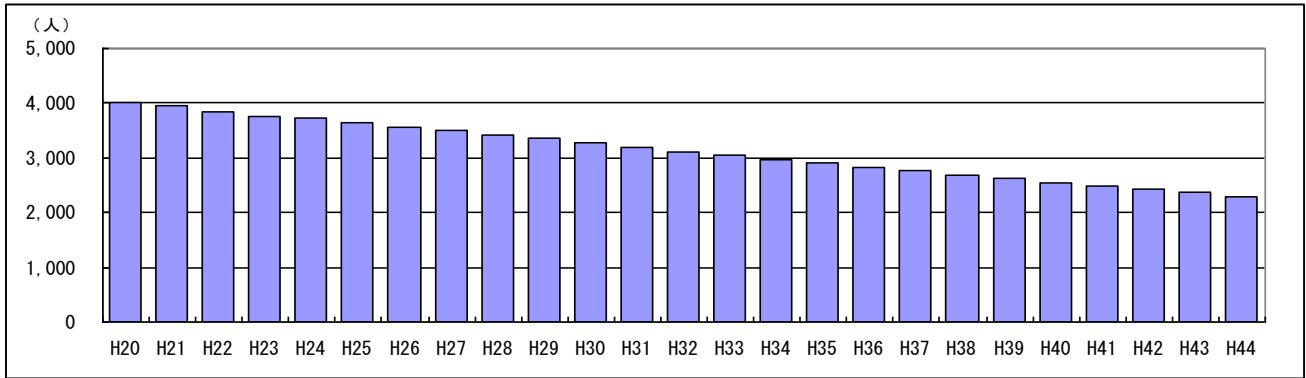
	実績値	推計値				
	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口	3,715	3,645	3,573	3,504	3,422	3,351
年少人口 (0～14歳)	335 (9.0%)	320 (8.8%)	316 (8.8%)	303 (8.6%)	296 (8.6%)	287 (8.6%)
生産年齢人口 (15～64歳)	2,065 (55.6%)	1,973 (54.1%)	1,883 (52.7%)	1,792 (51.1%)	1,702 (49.7%)	1,631 (48.7%)
高齢者人口 (65歳以上)	1,315 (35.4%)	1,352 (37.1%)	1,374 (38.5%)	1,409 (40.2%)	1,424 (41.6%)	1,433 (42.8%)

	推計値					
	平成30年	平成31年	平成32年	平成33年	平成34年	平成35年
総人口	3,271	3,192	3,116	3,045	2,973	2,907
年少人口 (0～14歳)	272 (8.3%)	261 (8.2%)	251 (8.1%)	242 (7.9%)	231 (7.8%)	219 (7.5%)
生産年齢人口 (15～64歳)	1,567 (47.9%)	1,504 (47.1%)	1,439 (46.2%)	1,389 (45.6%)	1,328 (44.7%)	1,279 (44.0%)
高齢者人口 (65歳以上)	1,432 (43.8%)	1,427 (44.7%)	1,426 (45.8%)	1,414 (46.4%)	1,414 (47.6%)	1,409 (48.5%)

	推計値					
	平成36年	平成37年	平成38年	平成39年	平成40年	平成41年
総人口	2,824	2,760	2,692	2,623	2,555	2,490
年少人口 (0～14歳)	206 (7.3%)	195 (7.1%)	182 (6.8%)	170 (6.5%)	160 (6.3%)	150 (6.0%)
生産年齢人口 (15～64歳)	1,228 (43.3%)	1,179 (42.7%)	1,126 (41.8%)	1,083 (41.3%)	1,044 (40.9%)	1,015 (40.8%)
高齢者人口 (65歳以上)	1,400 (49.4%)	1,386 (50.2%)	1,384 (51.4%)	1,370 (52.2%)	1,351 (52.9%)	1,325 (53.2%)

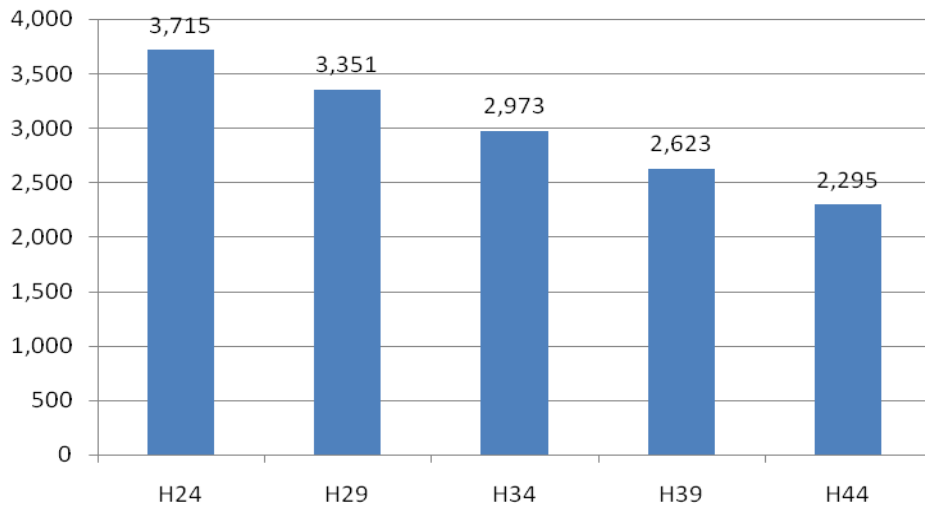
	推計値		
	平成42年	平成43年	平成44年
総人口	2,429	2,362	2,295
年少人口 (0～14歳)	140 (5.8%)	132 (5.6%)	124 (5.4%)
生産年齢人口 (15～64歳)	985 (40.6%)	961 (40.7%)	939 (40.9%)
高齢者人口 (65歳以上)	1,304 (53.7%)	1,269 (53.7%)	1,232 (53.7%)

3 武儀地域の総人口の推移

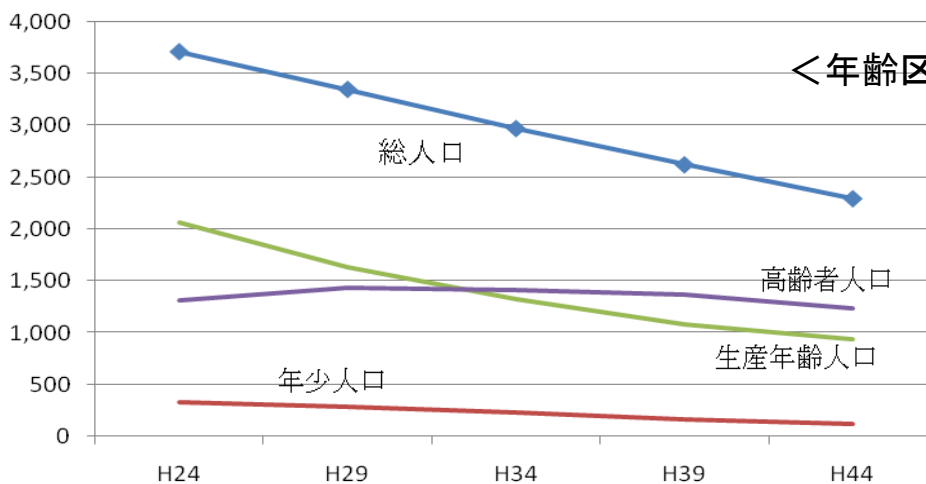


4 人口推計・5年ごとの見込 (再掲)

	H24	H29	H34	H39	H44
総人口	3,715	3,351	2,973	2,623	2,295
年少人口	335	287	231	170	124
生産年齢人口	2,065	1,631	1,328	1,083	939
高齢者人口	1,315	1,433	1,414	1,370	1,232



<総人口の推移>



<年齢区分別人口の推移>

5 人口推計のまとめと考察

- ① 武儀地域の人口は、平成24年実績3,715人から年々減少し、10年後の平成34年には2,973人となり、平成24年人口に比して742人の減・20.0%減少となる見込みです。また、20年後の平成44年には2,295人となり、平成24年人口に比して1,420人の減・38.2%の減少となる見込みです。
- ② 高齢者人口（65歳以上）は、平成24年実績1,315人から平成29年の1,433人まで増加をし続ける見込みです。その後、高齢者人口は減少に転じ、20年後の平成44年には、1,232人まで減少する見込みです。
しかし、武儀地域における高齢者人口の占める割合は、年々上昇を続け、平成24年実績は35.4%ですが、10年後の平成34年には47.6%、20年後の平成44年には53.7%となり、2人に1人が高齢者となる時代が訪れると予測されます。
- ③ 年少人口（14歳まで）は、平成24年実績335人から年々減少し、10年後の平成34年には231人、20年後の平成44年には124人となる見込みです。
また、同様に地域活力の源となる生産年齢人口も減少を続け、平成24年実績2,065人から、10年後の平成34年には1,328人、20年後の平成44年には939人となると予測されます。
- ④ 武儀地域の将来の姿を、人口推計により数値で客観的に見ることが大切です。
武儀は、人口規模が年々縮小し、極端な少子高齢化の地域になると予想され、このままでは、集落の消滅、武儀地域全体の荒廃につながる大きな問題になると危惧されます。また、地域活力の減退が、人口減少にさらなる拍車をかけることも考えられます。
この人口推計の予測を少しでも覆すことができるように、子どもが健やかに育ち、高齢者がいきいきと暮らせるように、地域をあげて、地域づくりに取り組む必要があります。
この機会に、将来の武儀が少しでも住みよい地域になるために、どのような取組を地域で行うべきか、武儀のみんなで考えましょう。